

独自の音楽文化を育て10周年。紀尾井ホールは、新たな飛躍をめざします。

1995年4月、東京・紀尾井町の地に誕生した紀尾井ホール。室内楽用800席、邦楽専用250席という理想的なサイズで、響きのよい名ホールとして愛されてきました。現在、ホールは高い稼働率を誇り、演奏家にして「紀尾井に立つのが夢」といわれるほどの殿堂となっています。そして、紀尾井ホールの室内管弦楽団「紀尾井シンフォニエッタ東京」は、メンバーが運営に参加する新しいスタイルで、創造性豊かな音楽活動を展開。その演奏パフォーマンスはつねに高い人気と注目を集め、この5月には、ドイツ最大の音楽祭「ドレスデン音楽祭」に正式招聘されました。「発掘・創造・育成・交流」をテーマに、若手演奏家を育み、最高の音づくりを追求してきた努力が実を結び始めたのです。音楽のハード、ソフト両面から、この10年で日本のリーディングホールと評価されるまでになった紀尾井ホール。新たな音楽文化創造へのチャレンジは、これからも続きます。

お問い合わせは新日鉄文化財団／紀尾井ホール 03-5276-4500

「紀尾井」は世界へ、
響き始める。
新日鉄文化財団。



<http://www.nsc.co.jp>